

1. 事業別助成金総括表

(単位：千円)

助成事業名	2023年度		2024年度			
	(実績)		(予算)	(実績)		(前年度比)
(1)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成						
国内研究助成	15件	14,990		14件	13,250	△ 1,740
国内活動助成	5件	4,330		3件	2,990	△ 1,340
〃 (地域NPO)	3件	3,000		2件	2,000	△ 1,000
海外助成	2件	1,980		2件	1,968	△ 12
特定テーマ①	3件	5,820		5件	7,880	2,060
特定テーマ②	3件	5,870		3件	5,880	10
小計	25件	35,990	36,000	29件	33,968	△ 2,022
(2)ナショナル・トラスト活動助成	0件	0	5,000	2件	1,780	1,780
(3)緊急助成	0件	0	1,000	2件	1,610	1,610
(4)協力型助成						
国際NGO助成	2件	1,740		1件	1,000	△ 740
学協会助成	1件	900		0件	0	△ 900
国際的プログラム助成	1件	470		0件	0	△ 470
小計	4件	3,158	1,000	1件	1,000	△ 2,158
計	29件	39,148	43,000	34件	38,358	△ 790

(1) 2024年度 第35期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成先一覧

【国内研究助成】

(単位: 円)

No.	テーマ (期間)	申請団体	代表者	助成額
1	アフアノマイセス感染症(ザリガニペスト)の病態解明とニホンザリガニへの影響調査	ザリガニペスト調査研究会	渡邊 謙一	¥1,000,000
2	天然記念物泉葛城山ブナ林に迫る温暖化とシカ食害: 40年前との植生比較とカメラトラップによるアプローチ	和泉葛城山ブナ林保全研究グループ	幸田 良介	¥990,000
3	関東平野における国内外来種ヌマガエルの爆発的増加が在来カエル群集に及ぼす生態的影響	筑波大-国立環境研究所カエル調査団	澤田 聖人	¥1,000,000
4	鳥類の集団営巣地が昆虫の多様性保全に与える影響を市民科学で解明	コロニー生態学研究グループ	本多 里奈	¥1,000,000
5	大型鳥類種の風車衝突事故対策の実現化をめざす研究	北海道鳥類保全研究会	白木 彩子	¥380,000
6	ニホンカモシカの減少要因の解明に向けた長期個体群モニタリング: シカの増加と錯誤捕獲の影響	浅間山カモシカ研究会	高田 隼人	¥1,000,000
7	日本列島で特異な適応進化を遂げたクチナガハバチ属の系統多様性の解明およびその情報を用いた保全単位の検討	国立科学博物館筑波実験植物園奥山研究室	奥山 雄大	¥1,000,000
8	多くの特産種を含む有明海の特異な底生生物群集の減少要因解明のための基礎研究	有明海保全生態学研究グループ	佐藤 正典	¥1,000,000
9	ゲンジボタルの離島への移入実態の解明	長崎大学教育学部生物学教室	大庭 伸也	¥1,000,000
10	グミ科グミ属絶滅危惧植物の窒素固定共生細菌相と遺伝的多様性の解明	グミ科植物研究グループ	塚本 佳生	¥1,000,000
11	蓄光繊維を用いたウミガメ類の新たな混獲防止技術の開発	北海道大学海亀研究会	富安 信	¥920,000
12	極東固有の草原・湿地性鳥類Helopsaltes属6種に共生するウモウダニの保全分類学研究	北海道大学大学院理学研究院・野外鳥学研究会	高木 昌興	¥1,000,000
13	微小希少水生昆虫アマミマルケシゲンゴロウの保全のための基礎調査	微小水生昆虫保全団体	加藤 雅也	¥960,000
14	健全な水辺環境における絶滅危惧IB類ホトケドジョウの生息に必要な条件の解明と地域個体群保全への適用	南房総里山水生生物保全研究グループ	高田 まゆら	¥1,000,000
国内研究助成 14件 合計				¥13,250,000

【国内活動助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	トウキョウサンショウウオ等在来両生類保全のための包括的なアライグマ対策	埼玉西部アライグマ対策協議会	渡邊 英之	¥990,000
2	日本の鳥類標識調査の100年 一次の100年間の発展に向けたシンポジウムとワークショップの実施	公益財団法人山階鳥類研究所	水田 拓	¥1,000,000
3	首都圏近郊の「新しき村」における農業活動と希少生物との関係～調査・保全とその啓発～	一般財団法人新しき村	稲垣 喜弘	¥1,000,000
国内活動助成 (一般枠) 3件 合計				¥2,990,000

【国内活動助成(地域 NPO 活動枠)】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	食害にあったクヌギの有効活用	NPO法人自然回復を試みる会 ピオトープ孟子	坂本 雅城	¥1,000,000
2	ラムサール条約登録湿地「漫湖」周辺の自然再生エリアにおける調査発見型環境学習プログラムの開発と提供	特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ (OEC)	立田 亜由美	¥1,000,000
国内活動助成 (地域 NPO 活動枠)			2件 合計	¥2,000,000

【海外助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	北ボルネオにおける断片化した熱帯林を結ぶ回廊に沿った中型・大型哺乳動物の分布調査	北ボルネオ熱帯林生態系サービス研究会	北山 兼弘	¥1,000,000
2	シロハラサギの生息域外保全：特殊育雛器を用いたブータンの現地専門家の支援と人工育雛技術の向上	シロハラサギ保全チーム	島野 智之	¥1,000,000
海外助成			2件 合計	¥2,000,000

【特定テーマ助成①】「絶滅が危惧される植物（種あるいは群生地）の保全に関する研究・活動」

No.	テーマ（期間）	申請団体	代表者	助成額
1	キタダケソウを含む希少高山植物種の温暖化応答予測のための基礎調査：GLORIAサイトの構築	乗鞍北岳GLORIAチーム	今井 伸夫	¥2,000,000
2	父島における国内希少野生植物4種の生息域外保全事業	特定非営利活動法人 小笠原野生生物研究会	藪内 良昌	¥1,920,000
3	絶滅危惧植物群の域外保全の社会実装：資金・担い手の好循環モデルの確立に向けて	芦生希少植物域外保全プロジェクト研究会	石原 正恵	¥2,000,000
4	東よか干潟におけるシチメンソウ群落のハビタット環境の現況解析	東よか干潟を守る会	郡山 益実	¥1,000,000
5	絶滅危惧種イワテヤマナシの遺伝的に純粋な集団の保全に関する研究	イワテヤマナシ保全研究グループ	石井 弘明	¥960,000
特定テーマ助成			5件 合計	¥7,880,000

【特定テーマ助成②】「日本国内における河口域及び海浜等の沿岸域の生物多様性保全に資する研究・活動」

No.	テーマ（期間）	申請団体	代表者	助成額
1	干潟域におけるマイクロプラスチック汚染実態と移行メカニズムの解明	干潟域マイクロプラスチック研究会	木村 悠二	¥2,000,000
2	開発が迫る海岸風衝草原における絶滅危惧植物の分布および送粉生態調査	宇久島植物研究会	長谷川 匡弘	¥1,880,000
3	奄美大島に沿岸に生息するミドリイシ属サンゴの保全に向けた基礎調査	奄美群島サンゴ研究グループ	北之坊 誠也	¥2,000,000
特定テーマ助成			3件 合計	¥5,880,000

(2) 2024年度 第20期ナショナル・トラスト活動助成

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	霧多布湿原を未来の子どもたちに引き継ぐためのトラスト地取得	特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト	小川浩子	¥750,000
2	霧多布湿原を未来の子どもたちに引き継ぐためのトラスト地取得	特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト	小川浩子	¥1,030,000
ナショナル・トラスト活動助成			2件 合計	¥1,780,000

(3) 2024年度 第8期協力型助成先一覧

【国際NGO助成】

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	ウガンダ・カリンズ森林保護区における霊長類と森林の保護、および地域社会との共働の推進（1年）	特定非営利活動法人カリンズ森林プロジェクト	橋本千絵	¥1,000,000
国際NGO助成			1件 合計	¥1,000,000

(4) 2024年度 緊急助成

No.	テーマ	申請団体	代表者	助成額
1	超希少種ヤクシマウスユキソウの分類学的改定と保全	東京都立大学牧野標本館 植物系統分類学研究室	片岡 利文	¥1,000,000
2	絶滅に瀕する本州産クマガラ個体群の生息拠点調査	NPO法人本州産クマガラ研究会	藤井 忠志	¥610,000
緊急助成			2件 合計	¥1,610,000